

自生種のカワラナデシコについて

平成28年6月4日 安達 榮一

1 概要

自生種カワラナデシコは、秋の七草の一つですが、河川の改修工事などで、最近はその数が減少しています。自生のカワラナデシコの種を蒔いて育てた苗を、毎年近くの公園などに提供して、育てていただいております。

2 経緯

①平成23年秋9月に、カワラナデシコの種は、多摩川の河川敷で採種されました。その種を、元東京農大教授（現在は東京大学大学院農学生命科学研究科）根本正之先生が、同年11月13日にセルポットにまき、発芽させたものを、私が平成23年11月29日に20株いただき、私の自宅でポットに移植、その後庭に地植えして育てました。

②翌年の平成24年7月末から10月末の間には、自宅庭で花を咲かせてくれました。

③そのカワラナデシコから採取した種を、毎年秋にセルポットにまき、発芽させ、苗を育てて、近くの公園や花壇に提供しています。

花期は、7月下旬から8月下旬ごろです。



カワラナデシコ（平成24年8月自宅庭で撮影）



カワラナデシコ（平成24年8月自宅庭で撮影）

3 苗の提供先

平成25年は、三鷹市星と森と絵本の家（国立天文台構内）40株

平成26年は、野川公園30株、三鷹市星と森と絵本の家（国立天文台構内）30株、
大沢コミセン5株

平成27年は、三鷹市立羽沢小学校30株、明星学園小学校10株を提供した。

平成28年は、野川公園自然観察園30株、三鷹市星と森と絵本の家10株、大沢コミセン10株
を提供しています。

以上